

「トビーキッズのたんけん隊 第1回春のたんけん」

1. 参加者

募集人数	応募者数	参加決定数	参加者数
36	101	36	34（体調不良のため2名欠席）

2. 事業内容（概要）

◆ねらい

若狭湾や近隣地域の自然の中で思い切り遊ぶことを通して、自然と親しむ心と体を育む。
自然の中で様々なチャレンジを通して、意欲を高め、自信を付ける。
四季を通じた体験を通して、地域の自然の豊かさ、面白さに気づく。

◆期日・期間

平成30年5月12日（土）～5月13日（日） 1泊2日

◆連携機関

福井、岐阜、愛知、滋賀、京都 各府県教育委員会

◆参加者分析

今年度も昨年度と同様に福井県嶺南地域（敦賀市を除く）と隣接する滋賀県高島市内の小学校1～3年生の全児童に応募案内を配布してもらえよう、各市町教育委員会に要項等を送付した。また、HPにも掲載し、広報を行った。地元小浜市や若狭町を中心に、近隣の府県からも多数申し込みがあり、その結果、今年度も100名を超える応募をいただいた。

抽選は応募総数に対してその学年の申込割合からその学年の人数を決定し抽選することとした。3年生については、応募対象の最終学年になることから、参加経験のない児童が参加できるよう配慮した。

表1. 申込者及び参加者の地域について

	福井県	滋賀県	京都府	愛知県	岐阜県	大阪府	兵庫県	合計
申込者	62	26	5	4	1	1	1	101
参加者	23	9	0	2	1	1	0	36

◆企画のポイント（日程・特色など）

	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
5月12日（土）		受付	仲間作りタイム はじまりのつどい	昼食	春のたんけん① 「 TENT を立てよう」 「 しぜんの家をたんけんしよう」			野外炊飯に挑戦！		春のたんけん② 「 ナイトハイキング」		入浴	テントで寝よう ※ログハウス泊になることもあります。
5月13日（日）	起床	朝食づくり 朝のつどい	テント片付け	春のたんけん③ 「 浜辺のたんけん」	昼食	春のたんけん④ 「 春の絵を描こう」 「 夏のけいかく」 「 おわりのつどい」							

- 今年度は昨年実施した内容を踏襲した形になっている。テント設営や野外炊事などキャンプ体験を通して、低学年でもスタッフのサポートを受けながらも、友達と協力し、自分たちの力でやりきることができるような内容を設定している。また、それぞれの回がつながっていくような仕掛けを行いたいと考えている。その1つとして第1回で挑戦した野外炊事から、家庭でもごはん作りに挑戦してみようという課題を子供達に出すことにした。
- 第1回目の春のたんけんは子供達の初めての出会いの場であることから、まずはアイスブレイクで緊張をほぐすようにした。内容は大学生ボランティアスタッフに依頼した。

◆運営のポイント

- 「トビーキッズのたんけん隊」がどのような趣旨でどのような活動を行っていくのか、保護者にも見通しを持っていただき、また、活動へのご理解をいただくためにはじまりのつどいの前に短時間ではあるが保護者説明会を設定した。
- 6人班を編成し、大学生ボランティアスタッフを3名ずつ配置することで子供達の活動のサポートを行うようにした。その、大学生スタッフも、初めてボランティアとして参加する学生が多かったため、経験のある学生スタッフとのバランスを考えて編成した。
- 6人の中で、役割分担を行い、自分の役割が果たせるような話し合いの場を持ってから活動にうつせるようにした。

3. アンケート結果

(1) アンケート

＜参加者＞

項目	4	3	2	1
事業全体をとおしてどうでしたか	91%	6%	0%	3%
この事業の運営はどうでしたか	75%	12%	3%	9%
テントでのお泊りはどうでしたか	85%	3%	0%	12%

4 満足 3 やや満足 2 やや不満 1 不満

(2) 参加者の声

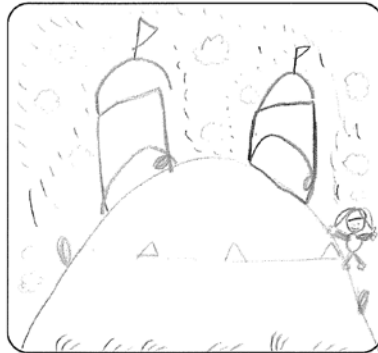
- 楽しかった。
- 寝袋で寝たことが楽しかった。
- 初めて寝たテントが面白かった。
- 初めてやったけれども、するうちに慣れました。
- 説明もとても分かりやすかった。
- みんなとテントをたてるのが良かった。
- 野菜を切るのが面白かった。
- カレーがおいしかった。

- 他のテントがうるさかった。
- 風の音で眠れなかった。
- 説明が長い。
- 灰だらけになった。

しおりに記載の感想より

- ・きょうはカレーづくりがたのしかったです。とくに、おもいでにのこっているのは火をいっぱいあびてほっぺたが赤くなったことです。

- ・ はじめてこんなところへきたのできんちょうしたんですが、ちゃんとしゃべれたのでよかったです。
- ・ はじめて、ここのキャンプにきました。しぜんのいえをたんけんしたとき、すごいなあとおもいました。テントをたてたときはたいへんでした。おふろはみんなではいりました。さっぱりしてきもちよかったです。また、あしたもたのしみです。
- ・ カレー作りがたのしかった。
- ・ 朝みんなと朝ごはんをつくるのがたのしかったです。ホットドッグはとてもおいしかったです。あそび、おどりはととてもたのしかったです。お昼ごはんもおいしかったです。いろいろな人となかよくなれたし、友だちもたくさんできてよかったです。
- ・ きょうはほんとうはすなはまへいってあそびたかったけど、雨であそべなかったのがざんねんでした。



4. 成果と課題

4. 成果と課題

(1) 成果

- はじめは緊張した面持ちの子供達も、アイスブレイクやテント設営、野外炊事など一つ一つの活動を通して徐々に打ち解けていく様子が見られた。
- テント設営はとても時間がかかり、後の活動がやや時間に追われるところもあったが、最後まで自分たちでやりきることができたことがよかった。
- テント設営での荷物運びやシートを広げて設営する場面などで、3年生が中心になって「せえの」といった声かけや小さい学年を誘って作業を行うなどする場面が見られた。
- テント泊や野外炊事を楽しんでいる子供達が多く、良かった。

(2) 課題

- 雨が強く、2日目は浜辺散策ができなかった。楽しみにしていた子供達が多く残念がっていた。雨も含めて自然をどう楽しませるのか工夫や準備が必要。
- 雨天のため雨具を使用している活動の際に、子供達は準備をしてきていたのだが、ボランティアスタッフの準備ができていなかった。雨天でも安全に活動できるためにもボランティアの装備も重要であるため、自然の家からの貸し出し用の数量の確認も含めスタッフの準備物の確認を行いたい。
- 子供達の力でやりきらせようとする、余裕のある時間設定が必要であった。今回はテント設営にかなり時間を要し、その後の夕食作りにしわ寄せがきてしまった。何とか自分の使った食器類を洗うところまではできたが、そのあとの後片付けはスタッフに任せることになった。そうした時間の余裕を含め、見通しのある活動プログラム、臨機応変な対応ができるようにしたい。
- 第1回ということもあり、全体的な説明が長かった。聞く子供達はよく我慢していた。ポイントを絞る、掲示物を作るなど、話を聞く時間が短くなるよう工夫する必要がある。

5. 活動の様子 写真（数枚）

【みんなで仲良くレクリエーション】



【自然の家の探検】



【テント設営、テント泊】



テントの中では・・・



【ごはんも、自分たちで作ったよ。カレー作り、カートンドッグ作り】



